

緊張 [編集する](#)

2009 年 08 月 02 日 21:23 [友人の友人まで公開](#)

6 view

緊張してます…。

今夜出発で、山へ行ってきます。

行先は、奥穂高～西穂高岳。

これまで行った山よりも、ダントツに厳しそうな岩場の縦走路。

なんだか、とてつもないものに挑戦してしまうようで…😓

いつかは行ってみたいと思っていた場所だけど、

ネットで、この縦走路を歩いた人の山行記録を読めば読むほど、

ドキドキは止まらない。。。😓

おれが本当にここへ行ってしまってもよいのか💡?

というわけで、ここ数年未加入だった山岳保険も、急遽加入し、

(選んでるひまもなく、オンラインで加入できるものに…。)

荷物も、いつもより軽量の軽量を徹底し、

(予備ガスも持たず、シャボン玉も持たず…。)

(でも、替えのパンツはやっぱり2枚👉)

それでも、40リットルのザックに入りきらず75リットルとなり(泣)💧💧

ただ、ひとつだけ心強いのは、ロンと同行すること👊

山仲間がいるのは、本当に心強い。

(しかも、テント等の重い荷物を持ってくれて、ありがとね m(__)m)

それにしても、やっぱり緊張する。

ただ、先日の山で、西穂を眺めながらその姿に圧倒されつつ、

そこに挑む登山客がいるのも見てきた。

今は、それをイメージし、超えられる、超えられる、と

自分に無理に言い聞かせるしかない。

夜行列車の切符も買ったし、こうなったら行くぞ👊

あ、もちろん生きて帰ってきます👊



本日、久々に mixi ログイン💻

バタバタしていたここ最近といえば、毎週、山三昧でした🌄
(→5 週連続の遠出。こりゃ、紅茶んさん並みのペースですね!?(😓))

そして、山にはやっぱりドラマがあり、
書き留めておきたいことがたくさん溜まってる———✎

あー、少しずつですが、山行記録いってみよ。

【2009.8.3 上高地～横尾～湊沢～穂高岳山荘】

★初めて晴れた、上高地

何度もここを通っているのに、いつも曇り空か雨(or 大雨)の上高地。なのに今回初めて、それはもうポストカードに出てくるような晴天👍 河童橋から見上げれば、そこには穂高連峰が!! 明日はあの上にいるはず...😓



(上高地から見上げた、穂高連峰)

★涸沢経由

噂には聞いていた、青空の下の涸沢カールも堪能。ロンが涸沢小屋で買ってきた、標高 2300m のソフトクリームを一口もらう。うまい!! 🍡 いつかのんびり山行で、ここのテント場に連泊してみたいな 💡

★ヘリコプター旋回

登山中、やけにヘリコプターが旋回していると思ったら、なんと前穂付近で、行方不明者が出たらしい…。そういえば、山岳警備隊も気のせいか多く見かけたような。夏山といえども、何が起きるかわからないわけで、急に不安がよぎる。。。👇 明日は、気を引き締めねば 🍊

★辛ラーメン、マッコリ、ハンゲル...

山小屋に着いたら、そこは韓国だった。。。👂👂

今夜は山小屋に 190 名の韓国人が宿泊するらしい…。ここ数年、韓国や台湾からの団体登山客が急増しており、小屋内には韓国語の注意書きも見受けられる。国際色豊かな北アルプスでした ✂

★やっぱり、山での語り

日没後のうっすらピンクがかった西の空、振り返れば東の空には満月。小屋裏口の石垣に登って、そんな空を眺め、一日の終わりを感じながらロンと語る、この何気ない時間も、山の醍醐味だね 🍷



(日没後の西の空。)



(満月が浮かぶ東の空。照らし出されるのが奥穂。)

★歩行時間

7:10 上高地

7:57 明神

8:40-8:50 徳沢

9:37-10:15 横尾 (←なぜか無駄に休みすぎ!! 反省。)

11:06-11:15 本谷橋

12:05-12:15 雪渓のはじまり (登山客で渋滞)

12:45-13:30 涸沢小屋 (昼食)

14:15-14:30 ザイテングラートのはじまり

15:25 穂高岳山荘

【2009.8.4 穂高岳山荘～奥穂高岳～西穂高岳～西穂高口】

★満点の星空

はりきって、2:15 起床。テントから首だけ出してみたら、久々に見た、真っ白に煌めく星空🌌 幸先いいね👍 (デジカメで、星空を写せないのが残念😞)

★奥穂山頂、御来光、そして...

早朝、奥穂高に登り、御来光を拝む。360 度のパノラマ。本日進むべきジャンルダムも、見える、見える、見える...



(本日歩くルート。右前方のドーム型の岩が、ジャンダルム!!)

★仲間発見!?

いつかは歩いてみたい、とずっと憧れていた縦走路。でも、本当にここを進んでいいの!? と相変わらずロンとブツブツ言っていたところに、同じルートを歩く 2 人組(そのうち 1 人の女性は 4 年前に縦走済み!!)と話をし、勇気が出てくる👉ほんと、ここまで来たら、行くしかない👉

ちなみにこの女性は、3 日前に自宅の階段でクライミングの練習をしていたところ、肋骨にひびが入り、しかし医者には自然治癒しないと診断され、そのままの身体で西穂を縦走することにした、とのこと。ほんと、世の中には元気すぎるヤマノボラーが絶えませんね...😞

★いきなりビビった、ナイフリッジ&馬の背。

ナイフリッジは、右も左も見下ろせば谷底となった岩稜を歩行(写真を撮る余裕もなし。。。😓) ここで、事前に読んだガイドで、上高地側に足場があることを思い出し💡、何とか通過できたものの、そのまま自然に突入した馬の背💧



(馬の背。右も左も谷底の岩稜帯を、一歩ずつ下りるしかない。)

三点支持を肝に銘じ、後ろ向きで岩場を下りていくしかないのだが、鎖等の人工物はなく、足がすくむ…。でも、谷底に落ちるわけにはいかないから、少しずつ足場を見つけて下りていくしかない🧗

歩き始める前は、腕力温存、腕力温存、なんて思っていたけど、いきなり両腕をフル活用。西穂縦走ルート of 怖さを思い知らされたのでありました…😓

(でも、ここが一番怖かった。この後も面倒くさいところはたくさんあったけど、歩き始めのここが、最もインパクトの強い怖さ😓)

★高山病!?

歩き始めてから、なぜだか頭が痛くなった。まさかの高山病💡? ここは 3000m 未満だし、そんなはずは…、緊張しすぎているのか自分…。こんな最悪なコンディションで、このまま歩けばロンにも迷惑をかけてしまう…💧

という不安が続きながらも、その数時間後、あっという間に解決。どうやら、ヘルメットを強く締めすぎていた

らしい。(→おでこの周りで固定するタイプです。) 脳への血流は大切ですよ、みなさん 🦋

★ついに立ったぞ、ジャンダルム!!

誰がそう名付けたのは知らないけど、ジャンヌダルクでもなく、ジャングルジムでもない、ジャンダルムに無事に登頂 🏔️ 天気も最高で、360 度のパノラマです!! 🌄



(山頂から西穂方面の眺望。そう、まだまだ縦走は続くんだけどね...。)

★ジャンダルム イベントその①

せっかくだし、山頂で何かイベントをやっておかねばならない、という血が騒ぎ出す。というわけで、



ロンとのお揃い T シャツで、ハイポーズ!

(これ、学生時代の山の会 T シャツです。)

★ジャンダルム イベントその②

やっぱりおれといえど…、と小道具を取り出し、



リコーダー演奏 🎵

(曲は『翼をください』)

山頂には他の登山客もいたので、控えめに 1 曲だけ。でも、久々に山で吹いたリコーダー。あー、気持ちいい 🎵

でも、喜ぶのはまだ早く、ここで今日のルートの 4 分の 1 が過ぎたところ。まだまだ、縦走は続きます…。がんばるぞ 🤔

★やってはいけない、「力づくでの岩掴み」

人がすれ違えないほどの足場で、岩壁に貼りつきながら右斜め下に下りていく現場。ここで、岩壁の岩に左手でしっかりと力をかけたら!! 🧊🧊 なんと、岩壁から岩がはがれてしまいました。。。 (超冷や汗... 🧊 背筋が凍りつく... 🧊)

このはがれてしまった重たい岩。今ここで左手を離せば、確実に、深い谷側へとめがけた、巨大な落石となる。とりあえず、右手と右足で身体のバランスをとりつつ、左手と無理やり持ち上げた左膝で、この岩を壁に押さえつけ、「ローン、どうしよう、これ…」 🤔

と騒いでいた時、ちょうど反対側のルートからやってきてくれたのが、昨年まで山岳警備隊の医療チームに

いたという登山客。彼のアドバイスの下、後から来たロンにも岩を持ってもらい、もともとあった場所の近くにそーっと戻す。。。

これ、次に通過する人も同じことをしてしまうのではないかと不安になったけど、こうしておくしかないと言われ、その場を離れる。ごめんなさい、余計なことをしてしまいました... 🤔

その登山客いわく、過去、このパターンで滑落事故が発生してしまったことがあるそうで...。岩を力づくで掴んではいけない、と身にしみて感じた瞬間でした 💧💧

★一休み、天狗のコル

ちょうど中間点。ここは唯一、上高地へのエスケープルートがある場所。どうしよう、ここで今日は終わりにして、上高地に下っちゃう!? という強い誘惑にかられるが、いやいや、やっぱり西穂を目指しましょう 📌🍰

(ちなみに、このエスケープルートは、かなり危険らしいです。ガレ場が相当ガレすぎているらしい。)

★長〜い、長〜い「逆層スラブ」& 多数出てくる無名の鎖場

縦走路の後半は、事前のガイドで、もっとも怖いのではと言われていた長い岩場の登り下りが何度も出てくる。



(逆層スラブを下っていく登山客。)

登りの鎖場は、力づくでも何とかよじ登れるけど、やっぱり怖いのが下りの鎖場。鎖には頼りすぎないようにしつつ、三点確保を意識して、なんとか進めた。ふうー。 🤔

そして、その先の、これでもかというくらいの複数のアップダウンの先にたどり着いたのが!!

★西穂高岳、登頂

西穂は、反対側のルートに、ロープウェイを使える登山口があるので入山しやすく、狭い山頂は多くの登山客(むしろ観光客も)で賑わっていた。

ここまでくれば、危険な縦走路は終了。ロン、そして、所々で一緒に歩いた二人組とともに喜び、そして、一気に力が抜ける…。でも、やっぱり、うれしい!! 🥳 しかも、ちょうどコースタイムで通過できたね 🏆



(やったぜ、おつかれ!!)

★あとは、温泉目指して…。

急ピッチの下山。西穂高に辿り着いたことで、気が緩んでしまったのか、西穂高～独標の下りも、やけに怖かったような気もしたけど(→ガレ場で、足元もが崩れやすいのです)、最後の集中力を振り絞って、ひたすら下山、下山、下山 🏃 無事に温泉 🌋 の時間もとれ、予約した新宿行きのバスの時間にも間に合った～ 🚌

★歩行時間

4:10 穂高岳山荘
4:45-5:10 奥穂高岳 (御来光を拝む)
6:24-6:32 ジャンダルム
8:00-8:11 天狗のコル
9:28-9:32 間ノ岳
9:55-10:07 間ノ岳と赤石岳とのコル
10:50 西穂手前の偽ピーク
11:00-11:20 西穂高岳
12:23-12:25 独標
13:02-13:13 西穂山荘
13:54 西穂高口

今回のルート、少人数というのもポイントだったと思う。

単独の人もたくさんいたけど、これが大人数だと、鎖場の順番待ち等で無駄に時間がとられてしまうのだ。

4人パーティーなら、2人と2人で別れて行動した方がいいくらい。これも勉強になりました💡

それにしても、夢の縦走路の踏破✨

先日の槍穂に続き、自己記録の北アルプス南北縦走ルートも更新👍

共に歩いてくれたロン、今回も本当にどうもありがとう🙏

こうしてまた、青春の1ページが、心に深く刻まれました🥹

📷フォトアルバムはこちら

http://mixi.jp/view_album.pl?id=36084005&owner_id=6743162&mode=photo